

まちのわだい

新たに3件を市重要文化財に指定

9月18日、市教育委員会は二位神社(沼田三丁目)が所蔵する「木造女神坐像」と「木造男神像」、個人蔵の「懸仏」の3件を重要文化財に指定しました。木造女神坐像は高さ54.8cmで10～11世紀の作品と考えられます。丁寧に彫られた表情など造形水準が高く貴重です。木造男神像は高さ86cmで11～12世紀の作品とみられます。腰から下が切断されていますが、元は立像だったと考えられます。懸仏は大小2面の鏡板で、直径は22.6cmと16.4cm。ともに15世紀ごろに作られたものと考えられます。この時代の懸仏は市内にほとんど残っておらず貴重です。市の重要文化財は今回の指定を含めて205件になりました。

閩文化課(☎0848・64・9234)

木造女神坐像(二位神社蔵)



木造男神像(二位神社蔵)



懸仏(大)(個人蔵)



懸仏(小)(個人蔵)



総合防災訓練・市民防災訓練を実施

10月6日、尾道糸崎港貝野岸壁(和田沖町)で大規模災害を想定した総合防災訓練を実施しました。訓練には消防や警察、自衛隊など57機関から約500人が参加。土砂に埋没した建物からの人命救助訓練やライフラインの仮復旧訓練などを行い、災害時の各機関の連携を確認しました。また同日、市民防災訓練を開催。市民ら約1,200人が避難訓練に参加し、避難所で救援物資の分配などを体験しました。

閩危機管理課(☎0848・67・6066)



地区の代表が熱戦 市民体育大会を開催

10月13日、やまみ三原運動公園で市民体育大会を開催しました。大会には市内17地区から選抜された選手約2,500人が出場。リレーや玉入れ、ボール運び競争などで熱戦を繰り広げました。各クラスの1位は次のとおりです。Aクラス=須波地区、Bクラス=本郷東地区、Cクラス=糸崎・木原地区

閩スポーツ振興課(☎0848・64・7219)



だいわ元気まつりが開催

10月20日、大和支所周辺で2019だいわ元気まつりが開催されました。特設ステージでは、地元の神楽団による公演や大和中学校吹奏学部による演奏などが行われ、訪れた人たちを楽しませました。また会場では、サトイモやレンコンなど地元野菜がふんだんに使われた「大和まるごと鍋」が振る舞われ、来場者たちは大和の秋の味覚を堪能しました。



空の日ふれあい秋まつり 親子連れでにぎわう

10月20日、広島空港周辺でひろしま空の日2019ふれあい秋まつりが開催されました。空港施設の見学や航空会社の制服着せ替えコーナーなど、さまざまな催しが行われ、親子連れなど約3万5千人でにぎわいました。ステージでは三原やっさ踊りや世羅町の和太鼓など周辺市町の伝統芸能が披露され、会場を盛り上げました。

閩ふれあい秋まつり実行委員会(地域企画課内)☎0848・67・6011)

